



ほこすぎ

NO.462

令和7年5月30日
豊崎小学校学校便り
全校児童 34名
文責 前川原 泉音



豊崎大運動会 大成功！！

校長 山 口 徹

5月17日（土）、小・中学校合同による第8回豊崎大運動会が行われました。

子どもたちは、自分たちで話し合っで決めたテーマ「優勝をつかめ 仲間とともに一致団結 限界突破！」のもと、34名全員がしっかりとゴールを目指し走りきり、最後まで精一杯がんばりました。保護者の皆様、地域の皆様には、そんなたくましく元気いっぱいの子どもの姿をご覧いただけたのではないかと思います。

この紙面では、保護者の皆様や地域の皆様には直接ご覧いただけなかった、子どもたちの姿をお伝えします。子どもたちは、運動会前日までのさまざまな活動を通して、着実に成長を遂げてきたのです。



練習がはじまった頃、小学校で初めての1年生の子のなかには、コースが分からずに逆方向に走ってしまう子がいました。初めてですもの。仕方ありません。1～4年生のチェッコリ玉入れでは、ダンスの練習も行い、体を使って表現する楽しさを体感するようになりました。5、6年の豊崎タイフーンでは、レースのたびにチームで作戦を話し合い、気持ちを高めていきました。全校リレーの練習は、お互い気持ちを一つにして戦います。レースをする毎に、まさに限界突破。そして、勝っても負けても、お互いのチームを励まし合う雰囲気もできてきたのです。当日ご覧いただいた、あのてるてる坊主も、子どもたちの心がこもっています。（5/16付 tetoru 「いよいよ明日は！」参照）

中学生との合同練習や予行練習では、立派なお兄さん・お姉さんの活動を羨望の眼差しで見つめていました。式の参加の仕方、返事の仕方は中学生の皆さんから学んできました。（右ページ 運動会トピック1）



このような「過程」を通して、当日の子どもたちの姿があります。

子どもたちは、日々さまざまな感じ方をし、さまざまな視点で考え、友と学び、時には失敗もしながら成長しています。そんな子どもたちの日々の「過程」を大事にし、変化をみとっていきたいと考えています。長い目で見ると、この運動会も「過程」に過ぎません。子どもたちのがんばりが次につながり、そして「限界突破」していけるような教育活動を進めていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、当日の温かいご声援はもとより、事前のグラウンド整備や奉仕作業など（右ページ 運動会トピック2）大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

